

医療情報の研究利用について

研究の課題名	表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療成績とGel immersion EMRの有用性
研究の責任者(当院)	消化器内科 医長 伊藤 亮
研究の対象者	当院で十二指腸腫瘍に対し、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、腹腔鏡下内視鏡合同十二指腸切除術(Duodenal-Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery, D-LECS)、内視鏡用視野確保ゲルを用いた内視鏡的粘膜切除術(Gel immersion EMR)のいずれかの治療を受けられた方
研究の目的	表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療法はCold Snare Polypectomy(CSP)、EMR、ESD、D-LECSに大別されるが、実際の治療法選択は大きさ、病変部位、悪性所見の有無、内視鏡操作性などを基に各施設の判断に委ねられているのが現状である。当院では偶発症リスク低減目的にD-LECSを積極的に施行してきたが、最近は新規治療法であるGel immersion EMRも実施している。今回当院における内視鏡治療成績を解析し、治療方選択の目安とGel immersion EMRの有用性を検討することを目的とした。
調査対象データ該当期間	2007年8月～2024年5月
研究の方法 (使用する情報・試料)	電子カルテ内から病変・治療手技・入院期間・再発有無などの情報を取得し、統計学的に解析する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話:0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

